



希望のひかり

第17回

市が東北誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー(以下、ILC)計画」について最新情報をお届けします

市は、来年度実施する中学生を対象としたILC出前授業の実施に向け、奥州宇宙遊学館を会場に2月26日、「ILC出前授業講師養成講座」を開催しました。今回は、この講座の様子をお知らせします。

ILC出前授業講師養成講座(第1回)

本講座は、NPO法人イーハトーブ宇宙実践センター(大江昌嗣理事長)に委託して実施するILC出前授業に向けて開催。ILCをテーマとした出前授業の講師予定者に、中学生の科学に対する興味を引き出し方を学んでもらうことが目的です。

同講座の1回目となった今回は、高エネルギー加速器研究機構の出前授業プログラム「KEKキャラバン」を活用。同機構の藤本順平理学博士が「宇宙をつかまえる：ILC

Cって何?」と題して講演しました。出前授業の講師予定者や市民など約40人は、藤本氏の分かりやすい話に、熱心に耳を傾けていました。

藤本氏は、実際に中学校の出前授業で使っているスライドを用いながら、子どもたちの興味を引くために、ガリレオやニュートン、アインシュタインなどの科学者を紹介している例を提示。関連した問題を出し、子どもたちに一生懸命考えてもらうことや、科学では実験が重要であると伝えていることを紹介しました。このほか、20世紀に確立した原子説は、科学技術の発展

に貢献したことを紹介。また、原子が何でできているかを見るためには加速器が必要で、それにより原子は3種類の基本粒子でできていることが解明されたことも紹介しました。アインシュタインが提唱した式「E=mc²」は、エネルギーと物質が行き来できる意味も持ち、加速器でエネルギーを集中させることにより、新し

い粒子を作ることができると述べた藤本氏。ILCは、この原理を利用して宇宙全体がどうなっているかを解明するもので、中学生には「宇宙は粒でできており、粒がわかれば宇宙がわかる」と伝えていました。

講演後、藤本氏には、ビッグバンやILCの施設などについて、出前授業の講師予定者から相次いで質問が寄せられました。

また、出前授業については、「小学生は理科が大好きだが、中学生になると嫌いになってしまふことがある。中学校は重要な時期で、ここで理科が面白いと伝えることができれば、高校、大学とつながっていく」とアドバイスしていました。

今回は、中学生を含め、市民の皆さんにILCとその意義を理解していただくため、今後も積極的に普及啓発活動を行ってまいります。

市ILC計画応援チームが発足

市は、若手職員15人をメンバーとした「市ILC計画応援チーム」を2月19日に設置。同チームは、今回開催された講師養成講座を受講したほか、今後開催されるILCに関する講演会やイベントなどにも参加する予定です。



小沢昌記奥州市長から辞令の交付を受ける市職員



藤本理学博士の話しに耳を傾ける参加者

本コーナーでは、ILC計画について皆さんの質問にお答えします。電子メール、ファクスでお気軽に「質問ください」。お問い合わせ先は本庁政策企画課ILC推進室(内線412・415、☎025233・☒ilc@city.oshi.wate.jp)

結 -ゆい-

～30の地区振興会による協働のまちづくり実践事例～

特色のある地区振興会の事業を紹介するこのコーナー。シリーズ23回目は、水沢区の姉妹町振興会を紹介します。

姉妹地区は、水沢区の東南部に位置しています。北上川に接している地域であり、水資源に恵まれ、稲作を中心とした豊かな農業地帯を形成。また、複合住宅団地「マイアネタウン」が整備されているのも、同地区の特徴です。住宅の建設による居住人口の増加はもちろん、商業・工業・福祉など、さまざまな分野の業種も地区内に進出し、今後さらなる発展が期待されています。

あね たい ちょう 姉妹町振興会

- 代表者：会長 立花 公夫
 - 人口：3,873人(男1,822人/女2,051人)
 - 世帯数：1,350世帯
 - 拠点：姉妹地区センター(水沢区姉妹町字宿8番地3 ☎☎02524)
- (平成26年2月28日現在)

姉妹町振興会の歴史は古く、昭和29年までさかのぼります。地区の要望などを総括する振興組織として、旧水沢市の誕生とほぼ同時に設立されました。組織体制は他地区振興会に見られる部制ではなく、各種団体と連携・協力し、①地域づくり②教育文化・スポーツ③健康福祉④生活環境—などの各種事業を展開。地域全体で取り組む体制が確立されています。ここでは、その中の特徴的な事業を紹介いたします。



マップと「姉妹むかしばなし三題」

■姉妹再認識浪漫活動

同振興会は、地区民が誇りを持って「姉妹に住んでいて良かった」と感じることができるよう、さまざまな事業に取り組んでいます。

その目的を実現するため「姉妹再認識浪漫活動事業」と銘打ち、姉妹の歴史を学び、体験する活動を企画。同地区の名所や旧跡を広く周知しようとして「姉妹の昔を語る会(以下、語る会)」と連携し、案内板と散策マップを作成しました。

案内板は、神社や寺をはじめ、城跡、石碑などの地区内17カ所に設置。マップは、A



姉妹音頭が復活。みんな楽しそうです。

■姉妹歩こう会

このイベントは、前段でも紹介した姉妹の名所や旧跡を巡るコースを設定し、ウォーキングをするものです。もちろん、1回では回りきれないことから、月2回のペースで、4月から11月までの8カ月で計16回に分けて、事業を実施しました。約1時間程度、楽しみながら歩き、各所を見学しました。全回に参加した人には「皆勤賞」を授与。毎回、約40人の参加があり、1年間の延べ参加者数は550人にものぼりました。

健康づくりはもちろんのこと、参加者相互の交流にも役立っています。



楽しみながらウォーキング